

某 テレビ局は「お金がないから頭を使え」という方針で、海外ドラマやアニメ、低予算のバラエティ制作で人気企業になっています。

新しいウイルス感染症の流行により、いろいろなことができなくなりました。今はどの業界でも工夫して業務を行うことが必要とされています。

今月号では北海道支部の安全大会開催と研修センターのリモート研修の取組みが掲載されています。

オンラインツールを使う会議などもありますが、北海道支部では支部長や来賓の方々の挨拶をメールで送付していただいてPDFにして情報共有する形の開催でした。

会場に集まって参加する臨場感や一体感はないかわりに直接聞くよりも正確に伝わり何度でも確認できます。新しい大会開催の方式として参考になるのではないのでしょうか。

研修センターのリモート研修では慣れない形態にとまどう参加者もいる反面、移動がなく参加しやすいというメリットを感じる方もいたようです。

「〇〇がない。ならばその中で工夫してみよう」このように不足していることを知恵と工夫で補うことは通信建設業界の得意分野だと思います。

しかし、オンラインではどうしてもできないこともあり、中止や延期になるケースもかなりあります。新しいウイルス感染の1日も早い収束を願います。(M.K)

4 Kテレビの宣伝も後押しし、最近では大型テレビの普及が著しく、家庭のテレビ受像機もだいぶ画面が大型化してきました。実家にも大型の液晶テレビがありますが、視聴していて困ったことが1つあります。

字幕放送の文字サイズが異常にデカイこと。実家には耳の不自由な親がいて、テレビの音量を上げるだけでなく、字幕放送対応番組は積極的に字幕を表示しているのですが、画面サイズが大きいとそれに比例して文字サイズも大きくなってしまいます。画面の3分の1から2分の1くらいの面積の中に、2～3行の文字が表示され、1文字あたりの大きさは常識の範囲を超えます。小さな画面では違和感なく表示されていた文字が、大画面ではそうなるってしまうのです。

せめて、文字サイズを数パターンの中から選べる機能を追加してくれば便利なのですが……。全メーカーが守る統一規格だからやむを得ない面もあるでしょう。でも、インフラの質が変われば、それに合わせて統一規格も見直す必要があるのではないかと思います。

これは何も字幕放送だけの話ではなく、さまざまなモノ、コトに対しても言えることだと思います。世の中の変化についていける広い視野を持つよう、日頃から努力したいものです。(Y.H)

こんな時が危ない!

- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日～2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

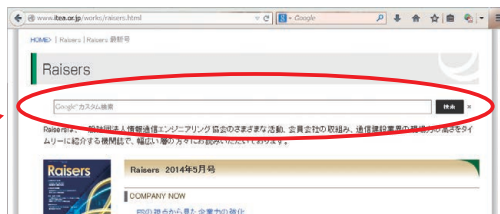
「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から

読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご利用ください。



Raisers第68巻第6号(通巻第745号) 2020年11月5日印刷 2020年11月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

